

「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書（参加学生）

平成 27年 8月 29日

所属：医学部保健学科看護学専攻 学年 3年次

氏名：長澤 悠平

研修先大学・機関名等（国）：王立ブータン大学保健学科（ブータン）

在籍身分：学生

渡航年月日： 27年 8月 10日

帰国年月日： 27年 8月 23日

○研修先での学習内容等

ブータンにおける医療事情、看護学生の教育事情について学んだ。その中で、どちらの項目についても少し前の日本の状況を辿っていることがわかった。そのため現在の状況は決して良いとは言えないが、今後は両方とも改善していくと感じた。

○研修期間の生活面について

ブータンの食文化に慣れない部分があり、食事の部分で大変さを感じた。インフラも整っていないことが多く不便さがあった。海外で安全に生活をするという面では、治安や人柄が良いブータンでは容易に感じた。

○研修期間全般にわたる感想

大学の教授、生徒、町の人たち、触れ合うすべての人々が笑顔で接してくれたため、不安も減少し有意義な時間を過ごすことができた。ブータンが幸せの国と呼ばれる所以はここにあると感じた。全校生徒、教授の前でのスピーチの機会もあり、良い経験もできた。ブータンの看護については今の秋田大学とは異なる点が多くあり、その理由について知ることで両校の良い点や悪い点について考える良い機会となった。

○今後の勉学計画

国の事情により求められる看護は違うということを学んだ一方で、看護というのはどこの国でも必ず必要とされるものだと学んだ。ブータンの学生から学んだ自発性は必ず看護に生きるものであるため、今後はそこを伸ばしていきたい。国際的な視野を持った上で看護というものを今後も勉強していきたいと思う。

